



「品質月間特集」  
「当たり前のことが当たり前」できる風土の定着  
伊藤金属工業株式会社

伊藤金属工業株式会社は、エンジン機能部品を主力に事業展開し、今年で創業100周年を迎えました。

これまで品質賞の受賞を目標に様々な活動を行い、2013年に受賞し現在も継続しております。

この受賞をきっかけに全従業員の品質意識が向上、不良発生時の原因「真因」は何か？について徹底的に考える風土が芽生えてきました。

その風土を定着させるために「人を中心とした品質活動」「物を中心とした品質活動」を継続しています。

＜＜人を中心とした品質活動＞＞

① 4S活動で異常の見える化（管理者による率先垂範活動）

4Sをグループで競い合うことで異常が視え、早期発見・対策が可能となっています。

さらに、「気づき」によるうれしさが芽生え、「当たり前のことが、当たり前」にできる」ようになっています。

＜4S活動風景＞



② 技能伝承活動（問題解決手法）

部署の枠を越え管理者が問題解決の実践を行い、問題解決手法を伝承し続けています。

また、ボトムアップによる現場改善として、全員参加の「ちょっと聞いてよ」活動を実施しております。

### <実践指導風景>



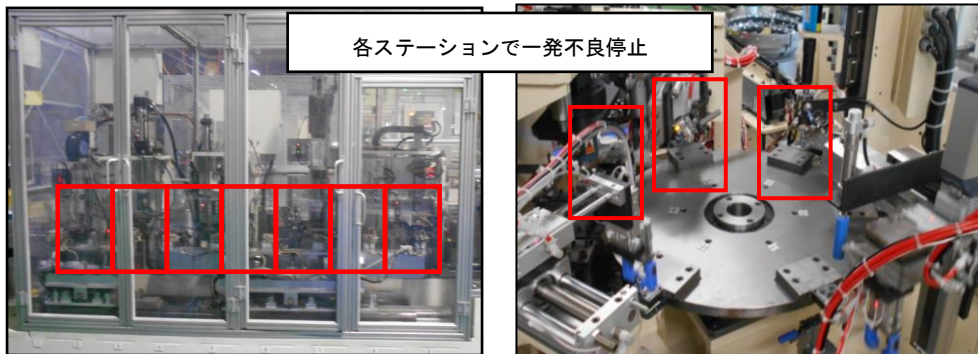
### <<物を中心とした品質活動>>

#### ① 工程内不良の見える化

一発不良停止による「自工程完結設備」への設備改善を実施。

自動化することで「品質の向上だけでなく自分たちの仕事が楽になる」ことを実感しています。

### <自工程完結設備：自動化>



このような取り組みをさらに強化・徹底・継続し、お客様に最良の製品を良心的に供給し、信頼して頂ける企業となるべく日々努力しております。